

科目名	視覚機能病態学 I 講義			分野・必選別・ 単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎教授(特) 小林義治						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	講義
授業の概要	視覚機能学習の基礎として、網膜の発生、構造、生理機能を学ぶ。 種々の眼底疾患の病態を学ぶ。						
授業の到達目標	①網膜の発生、構造分化を説明できる。 ②視細胞光受容を説明できる。 ③眼底写真、造影写真、光干渉断層計等の画像解析を説明できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	小林 義治	教授(特)	眼底の解剖について学ぶ。 硝子体・網膜・脈絡膜の一般構造を説明できる。			
	2	小林 義治	教授(特)	眼底の解剖について学ぶ。 黄斑・中心窩の構造を説明できる。			
	3	小林 義治	教授(特)	眼底の解剖について学ぶ。 黄斑・中心窩の構造を説明できる。			
	4	小林 義治	教授(特)	眼底の解剖について学ぶ。 視神経乳頭部の構造を説明できる。			
	5	小林 義治	教授(特)	網膜の発生について学ぶ。 神経外胚葉、眼杯を説明できる。			
	6	小林 義治	教授(特)	網膜の発生について学ぶ。 前駆細胞を説明できる。			
	7	小林 義治	教授(特)	網膜光受容について学ぶ。 視細胞光受容、脳層での処理機構を説明できる。			
	8	小林 義治	教授(特)	眼底疾患の病理について学ぶ。 網膜構成細胞・神経病変の一般所見を説明できる。			
	9	小林 義治	教授(特)	眼底疾患の病理について学ぶ。 網膜構成細胞・神経病変の一般所見を説明できる。			
	10	小林 義治	教授(特)	眼底疾患の病理について学ぶ。 網膜血管病変を説明できる。			
	11	小林 義治	教授(特)	眼底疾患の病理について学ぶ。 網膜血管病変を説明できる。			
	12	小林 義治	教授(特)	眼底疾患の病理について学ぶ。 脈絡膜病変を説明できる。			
	13	小林 義治	教授(特)	眼底画像検査について学ぶ。 蛍光眼底造影検査の正常所見・異常所見を説明できる。			
	14	小林 義治	教授(特)	眼底画像検査について学ぶ。 蛍光眼底造影検査の正常所見・異常所見を説明できる。			
	15	小林 義治	教授(特)	眼底画像検査について学ぶ。 光干渉断層計検査の正常所見・異常所見を説明できる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 回次の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	SJ Ryan著「RETINA」ELSEVIER社 L.A.Levin, S.F.E.Nilsson, J.Ver Hoeve, et al.(eds.)「Adler's Physiology of the Eye」MOSBY社						
参考書	随時 指示する。						
成績評価の方法および基準	授業内課題を含む口頭試問80%、レポート20% 欠席・遅刻・早退は減点の対象となる。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 (ディプロマ・ポリシー3に相当する)						